



研究開発課題

先鋭的な探究能力と包括的な科学的知識によって
創造的に社会の問題を解決する人材の育成

目標

- ① 社会の抱える諸問題を解決するために必要な、探究の汎用的技能と問題解決能力を身につけた生徒を育成する
- ② 先鋭的な科学技術人材に必要な、包括的で幅広い理科学的知識・科学的知識を身につけた生徒を育成する
- ③ 6カ年を貫く探究的活動や多様な課外活動を通して、主体性や創造性に富んだ生徒を育成する
- ④ 探究的活動における他者との協働や教科横断的な課外活動を通して、社会の諸問題を幅広く多面的に捉えられる生徒を育成する
- ⑤ 多様な課外活動や科学オリンピック等の普及活動を通して、科学の裾野を広げ、生徒の意識が科学技術人材へ向かうようにする

I. 6カ年を貫く探究

6年

5年

4年

3年

2年

1年

II. 理科教育課程

III. 科学オリンピック

IV. 科学系部活動

V. 教育課程外活動

TAKADA GAKUEN

建学の精神

仏教精神を基として宗教的情操を培い、人間性豊かな社会人を育成する

中高一貫教育

60年の歴史と伝統を誇り、6年間を見通した学力の充実を図る

I. 中高6カ年を貫く探究プログラム

4、5、6年：主体性、創造性、論理的思考力、問題解決能力の育成

6年

高田リサーチプログラム3
論文作成、要旨作成、スライド作成、
下級生とのディスカッション、
クラス内発表、優秀作品発表

5年

高田リサーチプログラム2
ゼミ活動による課題探究、中間発表、
生徒同士の討論、ポスター作成、
ポスターセッションによる全体発表

4年

(1)高田リサーチプログラム1
データ分析講座、探究企画書作成、
身につけた探究スキルの実践講座、
学問分野探究、先行研究調査、
クリティカルシンキング実践、
メタ認知と心の理論講座
(2)東京校外宿泊学習

3年

1、2、3年：協働性、多面的な視野、科学的探究心の育成

(1)高田サイエンスリサーチ3
研究手法の改善、グループ研究、
中間発表、ポスター作成、発表
(2)社会課題探究講座
SDGs、探究スキルの実践活用

2年

(1)高田サイエンスリサーチ2
研究手法の改善、グループ研究、
クリティカルシンキング、発表
(2)数学的探究スキル講座
統計学講座、データ分析の実践
(3)志賀高原校外宿泊学習

1年

(1)高田サイエンスリサーチ1
自由研究、グループ研究、発表
(2)言語的探究スキル講座
各種スキル講座、論文の書き方
(3)比叡山校外宿泊学習

II. 理科教育課程の確立

包括的で幅広い理科学的知識・科学的知識の育成

- (1)6カ年指導ロードマップ
授業内容や進度を示す根幹として活用し、教員・生徒共に6年間の理科の学び全体を見通すことができるようにする。
- (2)知識習得ルーブリック
いま何を習得すべきか明確化した上で、一つひとつの内容が今後の学びのどこへ繋がっていくかを教員と生徒間で共有する。
- (3)横断的実験プログラム
分野・科目間や学年間を横断した実験プログラムを開発し、中高全体で実施していくことで、生徒の理科へのさらなる興味を喚起する。

III. 科学オリンピックに関する活動

- (1)過去問講座・実技講座
過去問対策講座と実技対策講座を行い、興味のある生徒を後押しする。
- (2)普及活動
出場者によるトークセッションや地域向け行事を利用し、広報活動を行う。

IV. 科学系部活動の充実

- (1)部活動支援
生徒主体の活動を発展・拡大させる。
- (2)科学オリンピック等の対策
生徒による予想問題の作成や出題内容の議論を活性化させる。
- (3)研究室訪問
先端研究に触れ、生徒の意識変化に繋げる。

相乗効果
相互作用

V. 多様な教育課程外活動

- (1)土曜実験教室
希望者による実験を行い、興味・関心の気付きや主体性の育成に繋げる。
- (2)水曜特別講座
教科横断的な講座を開設し、文理融合的な総合知を育成し、広い視野を身につけさせる。
- (3)高大連携講座
県内外の大学と連携し、より効果的な高大連携講座を計画・発展させていく。
- (4)夏季特別講座
長期休業中ならではの幅広い活動を大学・企業と連携実施し、さらなる理科への興味をかき立てる。